

背景・目的

課題認識

人口

高齢化と転入者の減少
→近い将来、当市の人口は減少に転じる可能性が高い

経済

市内就業が少ない
→宗像の「稼ぐ力」が弱く、地場産業の衰退を懸念

宗像市政の方向性

市民の定住化促進
現役世代の市外からの移住促進
事業承継の円滑化

市民が働き稼ぐ場を創出
市外の活力で新ビジネス創出

ネットワークが目指すところ

創業気運醸成

創業支援環境整備

取組の内容

①情報共有・発信の強化

- 各機関の支援情報を共有する体制・仕組みを構築
- 各情報を個人・事業者へ効率的かつ効果的に発信
- 創業に関する相談受付体制を構築

②創業支援事業の実施

- 創業関心の度合いに応じた「“宗業”者応援プログラム」を実施（短期的取組）
- 空き店舗活用を見据えた「創業サロン」の設立を検討（中長期的取組）

構成機関

宗像市（商工観光課）・・・ネットワーク事務局、初動・総合相談窓口

宗像市商工会・・・創業支援事業の実施、創業者への直接的支援（経営指導等）

市内金融機関・・・融資相談窓口、創業者へのフォローアップ、広域的に創業誘致

※遠賀信用金庫、北九州銀行、西日本シティ銀行、福岡銀行、福岡県中央信用組合、福岡中央銀行、日本政策金融公庫（国民生活事業）

【オブザーバー】

独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部、福岡県よろず支援拠点、福岡県ベンチャービジネス支援協議会

→広域的に創業誘致、各種支援制度の活用

第一回連絡会議（開催報告）

○日時：2018年6月4日（月）14：00～16：00 ○場所：宗像市商工会会議室

○内容：目的及び取組方向性の総意、名称及び参画機関の確定、各種情報交換等



①情報共有・発信

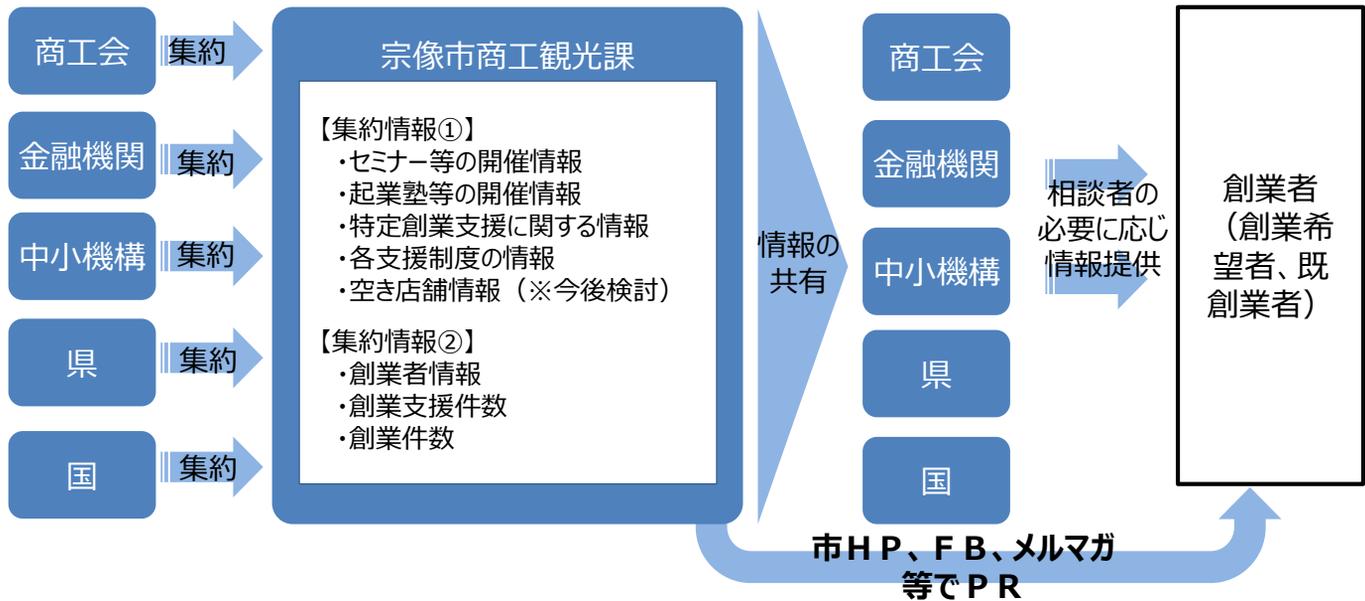
【情報の集約 (INPUT)】

- 各支援機関の支援メニュー（支援制度、セミナー、勉強会、金融商品情報等）や創業者に関する情報を宗像市が集約し、各支援機関へ情報提供
- 各支援機関に係った創業支援件数、創業件数についても毎年度集約し、創業の実態把握、事業の効果検証を行う

【情報の発信 (OUTPUT)】

- セミナーや創業スクール等の情報は、宗像市HP、FB、メルマガ等の広報媒体を活用して、随時、PRを実施
- 相談受付体制を整理、構築

《情報の流れ・イメージ》



②創業支援事業の実施

- “宗業”者応援ネットワーク内で具体的な取組項目、実施主体、連携内容等を協議、調整
- 短期的取組については、平成30年度に事業着手
- 中長期的取組については、平成30年度に事業の検討に着手

短期的取組 (平成30年度実施)	中長期的取組 (検討) (平成30年度以降実施)
<p>【創業希望者、既創業者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■特定創業支援事業である「個別相談会」の拡充 →「“宗業”者応援プログラム」を実施 ・商工会主催で実施する「起業塾」との合同実施 →既に関心が高い創業希望者への「深掘り支援」 ・セミナーや創業スクール、広域的支援機関とのマッチングといった「集団」へのアプローチ →関心がまだ高くない創業希望者の「底上げ支援」 	<p>【創業希望者、既創業者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■空き店舗等を活用した創業サロン（各種相談受付、コワーキングスペース等創業支援機能）の設置 ■市の空き店舗対策補助金の活用 ■空き店舗等を活用したチャレンジショップの支援 ■新しい支援制度の構築（ex.創業に係る補助金等） <p>【創業無関心者への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■創業無関心者への啓発事業（若年層向けビジネスコンテスト、小中高生を対象とした企業体験ワークショップなど）